

今後の議論の見通し

1 検討の進め方

- 審議会で構想の軸となる考え方を共有した後、重点的に議論すべき事項について、集中的かつ機動的に調査、検討を行うために、項目毎に部会を設置
- 部会での検討結果を受けて、最終的に審議会において審議

県立高等学校将来構想審議会（親会）

学校配置等の構想の軸となる考え方

- 適正規模の考え方
 - ・現在の適正規模の検証
 - ・地区別・学科別の適正規模設定の可能性
- 学校配置の考え方
 - ・県全体、地区別、学科別
 - ・地方部への特色ある学科の設置（英語科/情報技術科等）
 - ・寄宿舎設置の可能性
- 学科の在り方
 - ・学科の統合や連携（工業高校と普通科の統合など）
 - ・他校・専門機関との施設・設備の共有の在り方

学校配置検討部会

- 再編基準
 - ・再編統合、分校化、学級減等の基準を整理
- 中高一貫校の在り方
- 公私の在り方
 - ・私立高校との役割整理（競合/重複する高校の方向性検討）
- 特別支援教学校の狭隘化への対応（併置・跡地利用）

小規模校の学びの在り方検討部会

- 遠隔教育
 - ・授業配信校や授業配信センターの設置
 - ・専門学科での遠隔教育の可能性
- 移動手段の確保
 - ・スクールバス運行の可能性
- 教員の確保
 - ・教員の巡回授業やオンライン授業の実施方法の検討
- 学校間連携
 - ・学校行事や部活動の充実
- 地域等との連携
 - ・市町村立高校の設置の可能性
 - ・小・中学校、大学等と協働
 - ・コミュニティスクールの拡充
 - ・全国募集の拡充
- 小規模校における部活動の在り方
 - ・部活動の持続可能性（部活動を行わない学校の整理）

高校魅力化検討部会

- 普通科改革
 - ・学際領域や地域社会等に焦点を当てた新しい学科の新設
- 専門学科改革
 - ・半導体やAI業界に関する学び
 - ・中小企業への就職促進/地域との連携促進、インターンシップ充実
 - ・起業家を育成する高校の設置
- 新たな学科の設置
 - ・生徒が学びたいと思える学科、新たな産業の創出を視野に入れた学科等
- 地域資源活用
 - ・地域等の教育資源や人材の更なる活用
- 学級規模の特例の検討
 - ・少人数学級編成の可能性
- スクール・ミッションの再定義
 - ・学校配置を考慮したミッションの再定義

多様な学びの在り方検討部会

- 不登校生徒への対応
 - ・支援体制の充実
 - ・通信を用いた学びの充実
 - ・学びの多様化学校の設置の可能性
- 学び直しの対応
 - ・支援体制の充実
 - ・i d e a lスクールの横展開
- 特別な支援を要する生徒への対応
 - ・インクルーシブ教育の充実
 - ・通級による指導の充実
- 定時制の在り方
 - ・学校配置の考え方
 - ・再編の方向性
- 通信制の在り方
 - ・配信センター機能の検討
 - ・スクーリング拠点増設の検討

2 今後のスケジュール

開催時期	審議内容						
	県立高等学校 将来構想審議会	学校配置検討部会	小規模校の学びの 在り方検討部会	高校魅力化 検討部会	多様な学びの在り方 検討部会	備考	
R6	5月30日	②次期将来構想の策定について					
	8月27日	③学校配置の考え方等				・特別支援教育将来構想審議会 →「次期特別支援教育将来構想について」R6.8中間案公表	
	10月24日	④学校配置の考え方等				・各産業界／地域からの意見聴取 R6.10取りまとめ	
	11月		①再編基準、中高一貫校の在り方	①遠隔教育等	①普通科・専門学科改革等	①不登校生徒・学び直しへの対応	
	12月			②移動手段／教員の確保等	②新たな学科、地域資源活用等	②特別な支援を要する生徒への対応	・産業教育審議会 →「少子化を踏まえた専門高校・専門学科の在り方について」R6.12提言予定
R7	1月		②公私の在り方、特別支援教育との連携	③関係機関との連携等	③スクール・ミッションの再定義	③定時制・通信制の在り方	
	3月	⑤部会検討状況報告					・特別支援教育将来構想審議会 →「次期特別支援教育将来構想について」R7.3答申予定
	5月		③取りまとめ	④取りまとめ	④取りまとめ	④取りまとめ	
	7月	⑥部会取りまとめ報告 答申中間案（素案）の検討					
	9月	⑦答申中間案の取りまとめ					
	(10月)	答申中間案公表 パブリックコメント募集					
	(11月)	地区別意見聴取会					
	12月	⑧パブリックコメントの結果報告 地区別意見聴取会の結果報告 答申案の検討					
R8	2月	⑨答申案取りまとめ (答申)					